



自民党県連の遠藤利明会長(左から3人目)が谷垣禎一幹事長(同4人目)に要望書を手渡した  
 二東京・自民党本部

J A全中機能維持  
 谷垣幹事長に要望

自民県連、遠藤会長ら

農協改革をめぐる自民党内の議論が大詰めを迎える中、同党県連(会長・遠藤利明衆院議員)は5日、谷垣禎一幹事長ら党関係者に山形をはじめとする農業県の実態を踏まえ、全国農業協同組合中央会(J A全中)

の機能を維持するよう求める要望書を提出した。

要望書は「県内の農業従事者と関係機関は農業の成長産業化に向けた改革に取り組んでいる」として、農業を軸とした地域づくりを進めるため、今回の農協改革に際し①准組合員の利用規制を行わない②J A全中の機能を維持する一を強く求めた。

要望を受けた谷垣幹事長は「中央が地方を押さえ付

けているかのような意見があるが、そのような議論はこれ以上増やしたくない。地方の声を丁寧聞くよう(稲田朋美) 政調会長らに伝えてある」と述べた。  
 J Aグループ山形との意見交換を踏まえ、同党県連の遠藤会長、野川政文幹事長らが同日、党本部などを訪れた。